

7. 情報発信・広報活動等

①研究活動等の公開状況（講演会、公開講座等）

シンポジウム 講演会		公開講座 セミナー		その他 (施設等の一般公開等)		合 計	
件 数	参加人数	件 数	参加人数	件 数	参加人数	件 数	参加人数
2	66	3	88	0	0	5	154
○主なシンポジウム、公開講演会、施設等の一般公開の開催状況							
開催期間	形態 (区分)	対象	公開講座等名称	概 要	参加 人数		
R3.8.3	公開講座	一般	家畜衛生講習会（牛疾病特殊講習会）	牛の放牧衛生、牛小型ピロプラズマ病についてをオンラインで実施 対象者：家畜保健衛生所の職員など	47		
R3.10.28	シンポジウム	国際	Online symposium on joint usage/research center project "Establishment of tick biobank and its application to vector biology research"	Online symposium: DeMar Taylor 先生（筑波大学）と荻原麻里先生（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門）の2名による講演を実施	24		
R4.2.8-9	公開講座	一般	令和3年度家畜保健衛生所病性鑑定技術検討会(寄生虫部門)	ネオスポラ症の病性鑑定技術に参考となる講義をオンラインで実施 対象者：家畜保健衛生所職員	27		
R4.3.16	シンポジウム	国際	Online symposium on joint usage/research center project "Establishment of tick biobank and its application to vector biology research"	Online symposium: 原虫研マダニプロジェクトの活動紹介および Dr. Patrick Vudriko、Mr. Joseph Byaruhanga（ウガンダ；JICA 研修員 OB）による講演を実施	42		
R4.3.24	研究会	国際	原虫病研究センター/モンゴル獣医学研究所間のオンラインでのOIE学術交流セミナー	OIE Academic Exchange Seminar (IVM-NRCPD) 「Molecular epidemiology of bovine <i>Babesia</i> species in domestic ruminants and <i>Theileria equi</i> and <i>Babesia caballi</i> in horses in Mongolia」	14		

② 定期刊行物やホームページによる一般社会に対する情報発信の取組

情報発信の手段・手法	概要およびわかりやすい情報発信のための工夫
ホームページ	<p>センター専用のホームページ（日本語版・英語版）を開設し、研究活動（プロジェクト、国際協力）や研究成果（論文リスト、受賞、年報）のほか、毎年度発行している年報や原虫病に関する国際的定期刊行誌「The Journal of Protozoology Research (ISSN 0917-4427)」等を掲載し、国内外に向け広く紹介している。</p> <p>なお、研究内容が研究者のみならず、一般市民に向けても広く理解が得られるよう、情報発信について工夫しており、例えば、多くの原虫病を媒介し人や動物に甚大な被害を与えている「マダニ」の研究については、「マダニ解説ビデオ」や「とかちマダニじてん」を制作し、公開している。</p> <p>さらに、平成 29 年度には OIE コラボレーティングセンター及びリファレンスラボラトリーの専用ホームページを新たに作成し、実施可能なスーラ病診断検査に関する情報と検査依頼手順を公開した。また、この手順書は、米国農務省・動植物検疫所 (USDA-APHIS) ホームページからも公開されている。</p>
SNS	<p>研究ジャーナルや人材育成活動などの情報を発信するため、Facebook を開設し、研究成果等の情報を公開するとともに、研究者コミュニティや一般ユーザーからのレスポンス把握に利用している。</p>
パンフレットの作成	<p>毎年センター概要や研究活動を紹介したリーフレット（日本語版・英語版）を作成し、国内外の関係機関への送付や公共施設への設置、市民が来場するイベントでの配布等により、センターの活動について広く周知している。</p>